

平成27年度 豊見城中央 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞のICD10別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）](#)
7. [その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	1066	262	330	673	1036	1361	2311	2500	1933	474

当院は地域医療支援病院の承認を受けており、地域に根ざした医療を行い、地域の医療機関や介護施設との連携を強化しています。また、入院診療科が16診療科あるため幅広い年齢層の患者様の診療にあたる事が可能です。このようなことより60歳以上の高齢者の入院数が増えております。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳以上）手術なし 手術・処置等2 なし	72	10.08	14.34	2.78%	68.93	
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	45	7.02	6.31	2.22%	46.73	
040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	38	10.89	14.38	2.63%	77.74	

当院は日本呼吸器学会認定施設であり、最新鋭診断機器（高分解脳CT、PET/CT等）を備えて包括的な呼吸器疾患患者様の治療を目的として指導医他専任スタッフ3名が中心となり医療を実践しています。喘息・肺炎・慢性閉塞性肺疾患（COPD）・肺癌・間質性肺炎など全ての分野にわたり診療しています。また、呼吸療法士3名が常駐し、呼吸器リハビリにも力を入れています。

■消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	99	9.28	10.93	1.01%	71.54	
060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	73	7.90	7.91	1.37%	66.48	
060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの） その他の手術あり 手術・処置等	48	8.46	11.00	0.00%	67.29	

2 なし 定義副傷病 なし

沖縄は全国的に胆道系疾患が多く、胆管結石や胆管がんに対して乳頭切開術（EST）、拡張術（EPD）、ステント留置の検査が連日行われています。従来からの治療法である外科的切除を行わなくても内視鏡的治療方法で完治出来る症例がかなり増えています。また、近年消化器科医の減少傾向にある中、地域住民皆様をはじめ遠い地域や離島からの紹介患者様も年々増加傾向にあります。

■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	416	2.94	3.07	0.48%	67.17	
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1,2あり 手術・処置等 2 なし	271	4.59	4.87	0.00%	67.86	
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 2あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	180	2.99	3.22	0.56%	68.35	

当院は日本循環器学会研修認定施設・日本心血管インターベンション学会研修関連認定施設・日本不整脈心電学会専門医研修認定施設です。心臓血管外科医師とハートチームを形成し、日々循環器疾患患者様を治療させていただいております。従来より循環器内科医師が24時間365日院内に待機している体制に加えて、平成26年12月から近隣の救急隊とも連携協力体制をとり、モバイル心電図電送システムを活用した診断システムを採用しました。今後とも救急体制および他施設と連携し離島島国である沖縄県全体へ広がることに期待しているところです。

■腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳以上） 手術なし 手術・処置等 2 なし	153	9.54	14.34	1.31%	72.99	
110310xx99xxxx	腎臓または尿路の感染症 手術なし	124	11.89	12.60	4.03%	71.13	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	69	13.99	21.69	10.14%	81.93	

当科は、リウマチ・膠原病の診断、種々の免疫抑制剤の治療・関節リウマチ患者様に手術、骨粗鬆症治療等について整形外科医師と連携し、幅広い治療を行なっています。本県にも多くの関節リウマチや膠原病という自己免疫疾患の患者様がいらっしゃいます。早期診断と適切なタイミングで、病気の程度に応じた治療をさせていただきます。

■糖尿病内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
100180xx99000x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	142	5.12	6.55	0.00%	53.68	

100070xxxxxxx	2型（性ケトアシドーシスを除く。）	57	14.56	15.35	1.75%	61.81
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳以上）手術なし 手術・処置等2 なし	35	12.51	14.34	2.86%	75.34

糖尿病・生活習慣病のほか、内分泌・代謝性疾患などの全身管理を行ない合併症の予防と治療を行なっています。外来部門は専任看護師が常駐し、各科との連携を密にしながら全身管理を図り、入院部門は合併症の治療と内分泌疾患の精査加療を主な柱とします。を有する症例、合併症を持っている症例に対しては、専任スタッフによりその都度徹底的に治療、看護、教育を行い、再発の防止に努めています。

■外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
060035xx0100xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	62	18.16	17.41	3.23%	68.58	
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	47	7.74	9.17	2.13%	71.64	
060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	43	6.44	7.84	0.00%	57.72	

病気で手術を要する方々に安全で適切な手術治療が提供出来るよう、日々治療技術に研鑽を積み、専門領域別診療グループによる治療を基本としています。主な診療領域は、肝臓、膵臓、大腸、胃、肺、乳腺、血管領域を基本としています。また、抗がん剤治療や、消化器がん手術、鼠径ヘルニア手術についても治療数や手術数が多く、安全で安定した成績の良い治療の提供が期待できます。

■心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
050050xx0111xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術（梗塞切除を含む。） 単独のもの等 手術・処置等1 1,2あり 手術・処置等2 1あり	29	22.07	28.59	6.90%	67.69	
050080xx01010x	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 1あり 定義副傷病なし	29	20.66	25.69	3.45%	71.21	
050080xx0111xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 1あり	12	21.08	38.99	0.00%	66.83	

地域に根付いた医療を行うために心臓血管外科は2011年4月1日開設しました。私達の目指す心臓血管外科治療として、1. 原疾患に対する根治術 2. 術後ADLを落とさない周術期管理 3. 危機的状態にある患者さんの救命を掲げて個々の患者様に応じた治療を行なっています。また、常に、患者様にとって侵襲が少ない治療法、負担の少ない治療法を選択して良好な治療結果を残しております。

■小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
040100xxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	440	6.71	6.31	0.68%	2.86	
040080x1xxx0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳未満） 手術・処置等2なし	231	7.16	5.72	1.30%	1.26	
150010xxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	29	3.03	5.50	0.00%	3.00	

一般小児科全般を扱っており、特に小児アレルギー疾患に関しては症例数が多いのが特徴です。専門医が月曜日から金曜日午前中はどの曜日においても専門外来を担当しています。先天性心疾患、川崎病などの診断・治療のために心臓超音波検査などの設備があります。

■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	430	16.10	27.21	17.91%	74.74	
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	155	23.73	28.70	64.52%	79.53	
07040xxx01xx0x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等 定義副傷病なし	154	18.43	24.95	8.44%	69.19	

整形外科すべての分野に関して専門家及び設備を有した沖縄県随一の病院です。離島地域の患者様も多く年間手術件数は約2,000件を数えます。平均在院日数を全国と比較した場合、いずれも短い日数となっており早期退院を実現しております。クリニカルパスに沿って十分な管理のもとリハビリテーションを実施し、日常生活動作（ADL）の向上をめざしているためと思われま。人工膝関節置換術症例数につきましては、県内外トップレベルです。

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
120220xx01xxxx	女性性器のポリープ	61	1.07	3.08	0.00%	44.51	
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	51	5.14	6.50	0.00%	43.35	
120140xxxxxxxx	流産	51	1.47	2.34	0.00%	35.10	

当科は、産科・婦人科・不妊外来と3つの領域に分かれております。妊娠中に発生する多様な疾病に対応し、専門医師が頻繁に協議を行いあらゆる症例に対して一定で常に高い水準での医療を実践しております。婦人科では良性疾患に対する腹腔鏡下手術や子宮鏡下手術にも力を入れております。また、悪性疾患に対しては、婦人科悪性腫瘍専門部門を設立し高度な技術、知識を要した手術・化学療法にも対応しております。不妊外来につきましては、一般治療をはじめ、高度生殖医療（体外受精、男性不妊症に対する精巣精子を用いた顕微授精“TESE”）も行なっております。

■眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
020150xx97xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術あり	-	-	3.38	-	-	

DPCコード	DPC名称	患者数	在院日数 (自院)	在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1 あり 手術・処置等2 なし	36	2.14	3.15	0.00%	59.11	
010070xx97x00x	脳血管障害 手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	33	6.94	12.14	0.00%	68.15	
010030xx03x00x	未破裂脳動脈瘤 脳血管内手術 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	31	6.19	10.08	0.00%	62.94	

当科は、あらゆる脳卒中疾患に24時間365日の確かつ迅速に対応し、地域に密着した着実な診療により怖くない治療を目指しています。侵襲が少ない脳血管内治療の進化により多くの患者様を救うことが出来ている点が注目できます。

■形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
080180xx99xxxx	母斑、母斑症 手術なし	38	1.00	3.26	0.00%	3.16	
160200xx0200xx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）鼻骨骨折 整復固定術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	23	3.30	5.86	0.00%	33.65	
070071xx97xx1x	骨髄炎（上肢以外） 手術あり 定義副傷病 あり	19	65.00	57.63	36.84%	68.74	

当科は、顔面・手足・その他全身にわたる部位の外傷、傷跡などによる後天性変形や、先天性異常を外見的・機能的に配慮しながら修正・再建し治療をする外科です。生来より生じる、また成長過程や外傷などの結果生じる母斑や血管腫など、機能のみならず形態・外見に配慮した治療を友愛の心をもって実践することで患者様の社会的適応を妨げないようにすることが当科の使命と考えます。

骨髄炎の平均在院日数は全国を見ても、50日超えと長期化しているのがわかります。当院の特徴としましては、別疾患で入院治療後、骨髄炎を発症し、転科しているケースがほとんどです。

初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	37	18	14	7	4	4	1	7
大腸癌	39	44	38	30	0	3	1	7
乳癌	27	4	2	1	0	2	1	7
肺癌	26	6	14	28	0	3	1	7
肝癌	8	5	8	11	2	12	1	7

※ 1：UICC TNM分類、2：癌取扱い規約

当院は、がん治療認定医研修施設の一つで、南部医療圏（浦添市以南）における治療経験数は、大腸がんで2番目、胃がんで3番目の実績があり、胃・大腸・肝（消化器内科・消化器外科）、肺（呼吸器内科・呼吸器外科）、乳（乳腺外科）で診療しています。

癌治療を早期に行うメリットとしましては、内視鏡的治療や腹腔鏡下治療といった比較的的患者さまへのダメージを抑えることができ、診断当初から緩和ケア・がん化学療法看護認定看護師・薬物療法認定薬剤師と連携し、チーム医療で多角的な支援の取り組みとして、「がんボード」と呼ばれるがん治療に特化した会議（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、心理療法士など多職種で結成されたチーム）を行い、患者さまごとに化学療法のレジメン（抗がん剤の組み合わせ）などの治療方針について意見を交換し合い、より効果的な治療を提案する場を設けています。

また、豊田中央病院付属健康管理センターにて「がん検診」、豊崎クリニックではPFT検査等もあり、早期発見・早期治療に

努めています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
重症度 0	72	8.49	52.82
重症度 1	88	9.97	78.79
重症度 2	45	10.78	81.91
重症度 3	11	14.82	77.73
重症度 4	1	-	-
重症度 5	1	-	-
不明	0	0	0

患者数が最も多いのが、中等度です。軽症の患者様の平均年齢が50代に対し、中等度～超重症の患者様の平均年齢が80代で後期高齢の年齢層になっております。

成人市中肺炎診断ガイドラインでは、軽症の患者様は外来治療となっており、入院加療の適応ではないことがありますが、軽症の患者様であっても、患者様の基礎疾患によっては、重症化もあり得るため、入院適応となる場合もあります。

脳梗塞のICD10別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	23	4.87	65.61	0.00%
		その他	3	4.33	65.33	0.00%
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	0	0.00	0.00	0.00%
		その他	0	0.00	0.00	0.00%
I63\$	脳梗塞	3日以内	136	18.74	72.43	38.24%
		その他	25	20.28	77.20	28.00%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	9	8.33	69.44	0.00%
		その他	28	5.61	70.89	0.00%
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	4	23.25	77.25	25.00%
		その他	0	0.00	0.00	0.00%
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	0	0.00	0.00	0.00%
		その他	1	-	-	-
I679	脳血管疾患，詳細不明	3日以内	0	0.00	0.00	0.00%
		その他	0	0.00	0.00	0.00%

発症して早期に入院される患者様が大半で平均年齢は71～72歳で高齢者の患者様が多くなっております。平均在院日数は病名によって差がありますが、長くても20日程度の入院期間で治療とリハビリを行い、半数以上の方が自宅もしくは施設へ退院し、約4割の患者様が継続リハビリのためリハビリ専門の病院へ転院されています。

また、当院では主に内科と脳神経外科で脳梗塞の患者様の診療をおこなっております。内科では、脳梗塞で脳血管に詰まった血栓を溶かし血流を再開させる血栓溶解療法（t-PA治療）を行い、医師により手術適応と判断された場合には、脳神経外科の医師

へ引き継がれます。また、救急外来の患者様についても脳神経外科医がいつでも迅速に対応することが可能です。
 なお、集計で1675（もやもや病）に分類される症例は1件でした。患者さまが特定され得るため、情報は記載いたしません。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■呼吸器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K386	気管切開術	-	-	-	-	-	
K6153	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	-	-	-	-	-	
K496-4	胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	-	-	-	-	-	

呼吸器内科では、手術症例はそう多くはありませんが、嚥下機能が低下し誤嚥性肺炎など併発しやすく、自力での喀痰排出が困難となった場合に実施します。気管切開を行い切開から喀痰を吸引してあげることにより、呼吸困難などの症状を軽減させる効果があります。

今回、呼吸器内科の手術に関しましては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	105	1.39	12.55	5.71%	76.75	
K654	内視鏡的消化管止血術	55	0.33	8.71	5.45%	67.64	
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	50	1.20	1.60	0.00%	63.46	

消化器内科では、胆道疾患に対して行われる手術である内視鏡胆道ステント留置が最も多くなっており、狭くなっている胆道にチューブを挿入して拡張し、胆汁の流れをよくする手術です。

次いで、吐血・血便など消化管から出血している患者様に対して行う内視鏡的消化管止血術が多くなっており、

また、大腸ポリープや大腸腺腫に対する内視鏡ポリープ・粘膜切除術は短期入院となっており、日帰り手術も行なっていることから今回の条件より少々患者数が減少していると思われます。

■循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	249	1.57	3.07	0.40%	67.34	
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術 心房中隔穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの	87	1.53	3.99	0.00%	63.61	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	61	1.15	3.89	1.64%	70.74	

循環器内科では、地域周辺の医療機関からの紹介、離島施設からの紹介も多く、虚血性疾患（心筋梗塞や狭心症など）に対する経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的カテーテル心筋焼灼術といった心臓カテーテル治療の症例が多くなっており、従来より循環器内科医師が24時間365日院内に待機している体制に加えて、モバイル心電図電送システムを活用した診断システムを採用して、心筋梗塞の患者様への早期診断・治療が可能となり、救命率・社会復帰率の向上につながっております。

また、チーム医療に関しては、他科からの依頼も多く、最も多いのが腎臓内科の経皮的シャント拡張術（17件）となっております。

■腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
------	----	-----	--------	--------	-----	------	-------

K610-3	内シャント又は外シャント設置術	22	14.64	17.18	4.55%	69.41	
K610-3	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	17	5.65	11.65	0.00%	66.41	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	

腎臓内科ではシャント設置術が多くなっております。シャント設置術とは、主に透析患者様に行われる手術です。体内に生じる老廃物を週に2～3回、1回4時間程度の透析で除去しなければならず、短時間にたくさんの血液を採取できるようにするための手術です。

また、シャント拡張術はバルーンをついたカテーテルをシャント内の狭窄部（狭くなっている部分）でふくらませることによって拡張する手術です。

外科、循環器内科と連携を取りながら、チーム医療に努めています。

今回、内視鏡的消化管止血術に関しましては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■糖尿病内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6871	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみ）	-	-	-	-	-	
K6262	リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	-	-	-	-	-	
K821-3	尿道ステント前立腺部尿道拡張術	-	-	-	-	-	

糖尿病センターでは基本的に手術は行われませんが、当院は総合病院であるため糖尿病内科で入院中になんらかの病状がある場合に、別の診療科で対応していただいた症例になっております。

糖尿病・内分泌内科に関わった手術に関しましては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	84	1.44	4.60	1.19%	58.61	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	73	1.04	2.89	0.00%	63.04	
K7193	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	57	4.40	14.53	8.77%	69.60	

外科では、腹腔鏡下胆嚢摘出術が最も多く、次いで腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術となっております。

結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術はガイドラインに沿った治療法を心がけております。

手術適応を厳格にしなが、適応に応じ腹腔鏡下手術を積極的に実施しており、術後のQOLを高めるよう工夫しております。

■心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないもの） 2吻合以上のもの	32	6.00	17.34	9.38%	66.25	
K5551	弁置換術 1弁のもの	29	3.10	17.17	0.00%	74.62	
K5552	弁置換術 2弁のもの	14	4.21	21.93	0.00%	64.36	

心臓血管外科で主に行われている手術は、冠動脈・大動脈バイパス移植術です。この手術は患者様にとって侵襲の少ない「心拍動下冠動脈バイパス術」を100%完遂し、移植血管の開率は96.4%良好です。

■小児科

Kコード	名称	患者数	平均	平均	転院率	平均年齢	患者用パス
------	----	-----	----	----	-----	------	-------

			術前日数	術後日数			
K9132	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの		-	-	-	-	-
K300	鼓膜切開術		-	-	-	-	-
-	-		-	-	-	-	-

小児科の入院症例で手術として扱われるものは、仮死状態で出生した新生児に対する蘇生術や、小児科で入院中に併発した耳疾患に対する鼓膜切開術となっております。全体的に数少ない症例数となっております。
今回、小児科の手術に関しましては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（膝）	449	1.55	13.55	17.82%	74.55	
K0821	人工関節置換術（股）	156	1.19	16.76	9.62%	69.13	
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 椎弓形成	156	4.43	20.14	15.38%	66.08	

整形外科では、主に人工関節置換術（膝・股関節）を行なっております。人工関節置換術は高度に壊れたり変形した関節を金属などでできた人工の関節に置き換えて痛みを軽減する手術です。これまで多くの患者様が日常生活を楽しく送れるようになっていきます。また、膝の人工関節置換術は日本全国でもトップクラスの手術件数です。
他にも、脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術は椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などに対して行われる手術です。手術では全症例に顕微鏡を導入しています。

■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8882	子宮付属器腫瘍摘出術（両側） 腹腔鏡によるもの	69	0.96	3.26	0.00%	43.25	
K861	子宮内膜搔爬術	62	0.05	0.29	0.00%	45.40	
K872-3	子宮内膜ポリープ切除術	56	0.04	0.07	0.00%	44.21	

産婦人科で主に多い手術症例は、卵巣腫瘍などがみつかった場合に、子宮付属器（卵巣・卵管）対して行う腹腔鏡下手術です。当院では腹腔鏡下筋腫核出術、腹腔鏡下子宮全摘術、子宮鏡下筋腫核出術等の手術を行っており、傷跡も少なくすむことで患者様の身体への負担軽減にもつながります。次いで多いのが、子宮内膜搔爬術です。子宮内膜に異常が見つかった場合に診断・治療を行うために実施します。上記のほか、当院は子宮頸癌に対して妊孕性温存の広汎子宮頸部摘出術も行なっています。また、当院では帝王切開も数多く行なっておりますが、今回の抽出条件では計上されておられません。

■眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 口	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	141	0.06	1.03	0.00%	72.46	
K2422	斜視手術 後転法	-	-	-	-	-	
K2681	緑内障手術 虹彩切除術	-	-	-	-	-	

眼科では、白内障手術が最も多く、日帰り手術が大半を占めています。南部地区の地域医療支援病院として、各医療機関ともに連携を取り合い、眼科診療を提供しています。手術治療に関しましても、患者様のニーズにお答えできるよう努めています。
今回、斜視手術・緑内障手術に関しましては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術ⅠⅠⅠ型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	16	1.06	4.75	0.00%	50.69	
K3772	口蓋扁桃手術 摘出	16	1.00	7.06	0.00%	23.56	
K339	粘膜下下鼻甲介骨切除術	14	1.00	3.14	0.00%	28.21	

耳鼻科では、内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型の手術と口蓋扁桃摘出術が多く行われております。口蓋扁桃摘出術は扁桃炎を繰り返す患者様に実施される手術です。

当院は、副鼻腔炎に行われる内視鏡下鼻・副鼻腔手術（ESS）を導入してから10年以上が経過し、その症例数も年々増加傾向にあります。これまでの副鼻腔手術のイメージとは違い、低侵襲な内視鏡手術を更に工夫することによって、より安全で負担の少ない鼻の手術を目指していきたいと思っております。

■皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	17	1.12	11.41	0.00%	77.29	
K0053	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部） 長径4センチメートル以上	-	-	-	-	-	
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上）	-	-	-	-	-	

皮膚科では、主に皮膚の腫瘍の摘出手術を行っております。当科ではダーモスコープ診断により「痛みのない検査」で皮膚腫瘍の診断を行うことが可能です。いつも患者様のQOLを大切に考えて最良の医療サービスの提供に努めています。今回、皮膚科の皮膚、皮下腫瘍摘出術に関しましては、患者様が特定され得るため情報は記載いたしません。

■泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7811	経尿道的尿路結石除去 レーザーによるもの	87	0.83	3.71	0.00%	61.17	
K783-2	経尿道的管ステント留置術	76	0.87	5.45	6.58%	65.54	
K8036□	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道手術 その他のもの	49	2.10	7.18	0.00%	74.08	

泌尿器外科で多い手術は、経尿道的尿路結石除去術 レーザーによるもので、尿道から内視鏡を挿入して、直接レーザーにて結石を破碎する手術となっております。次いで、経尿道的尿管ステント留置術です。水腎症や尿路結石症の場合に腎臓と膀胱の間にある尿管に留置し、尿路におけるおしっこを通す障害などのリスクを減らします。3番目に多い膀胱悪性腫瘍手術は膀胱がんに対して行う手術です。尿道から内視鏡を挿入して腫瘍を切除治療するもので、近年増加傾向にあります。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K1781	脳血管内手術 1箇所	38	0.95	10.11	13.16%	61.63	
K164-2	慢性膜下血腫穿孔洗浄術	30	0.40	10.13	6.67%	79.03	
K609-2	経皮頸動脈ステント留置術	28	3.68	6.75	10.71%	71.46	

脳神経外科で最も多い手術は脳血管内手術です。この治療の特徴は、更に身体への負担を軽く治療ができます。また、当院は最高

クフスの脳血管内治療設備が整っており、さらに脳血管内治療を迅速かつ的確に行えるよう訓練された沢山のスタッフがおり全国でもトップクラスです。平成24年度以降においては、救急診療拡大、脳血管内手術、内視鏡手術等新しい手術の導入に伴って手術件数は飛躍的に増加しています。中でも脳動脈瘤コイル塞栓術につきましては、県内外トップレベルです。2015年度は109件の治療を行いました。

■形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	26	1.12	3.35	0.00%	48.96	
K0503	腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	15	8.20	50.40	26.67%	66.67	
K333	鼻骨骨折整復固定術	14	0.86	0.29	0.00%	26.43	

形成外科では主に皮膚体表面の病変や顔面骨の手術を実施しております。形成外科ならではの再建技術・知識を用いてQOLに配慮した治療を行います。十分なインフォームド・コンセントを行い、治療法の選択は患者様の意向を尊重し、治療のゴールが共有されるよう努めています。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	2	0.02%
		異なる	7	0.06%
180010	敗血症	同一	39	0.33%
		異なる	59	0.49%
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00%
		異なる	0	0.00%
180040	手術・処置等の合併症	同一	145	1.21%
		異なる	14	0.12%

当院は、手術・処置等の合併症の入院契機病名が『同一』である患者数が全体の1.21%と最も多く、手術・処置などの合併症を主として入院し、治療を受ける入院患者様が多いのが特徴です。

その中でも最も多いのが、人工透析を行う為に作成した人工血管に付随する閉塞や狭窄となっております。当院で人工透析を行っている患者様を初め、他院で人工透析を行っている患者様のシャント閉塞の紹介も多く、緊急入院治療・手術になった場合でも、内科・外科ともに専門医師での対応が可能です。